

## 令和元年度 資料館事業報告

### 前年度開催の企画展・特別展

第1回「松川町歴代成人式集合写真」

第2回「寄贈民具・史料・写真展」

第3回「写真で見る松川町の今昔」

第4回「路傍の石仏展」

特別展「新春 素敵な展覧会 伊勢神宮奉納画家 松尾隆康 祈りの世界」

### 松川町文化祭展示

町民体育館が耐震工事で使用できなかったため、「えみりあ」で松川町文化祭を実施。資料館の展示室を絵画の展示コーナーとして使用した。

### 教育普及・学習援助

- (1) 松川中学校 2年生職場体験学習
- (2) 松川中央小学校 3年生学習援助
- (3) あそびの楽校まつかわ 協力
- (4) 双葉保育園 古代米栽培 支援
- (5) 松川町中央公民館「地域を知る講座～松川町の昔の暮らし～」協力
- (6) 地域からの要請に応える
  - ①講演 コミカフェで2回実施
  - ②ツツザキヤマジノギク保存活動への協力
  - ③台城狼煙上げ 協力
- (7) 文化財パズルおよび資料館クイズ

### 広報活動

- (1) チャンネル・ユーと協働で番組の作成
- (2) 展覧会（企画展・特別展）の広報
- (3) 公民館報に毎月掲載「松川町の今昔～資料館だより～」
- (4) 広報まつかわ（令和元年8月号）に遺跡の情報を特集として記載

### その他

- (1) 収蔵史料等の整理
- (2) 他機関との連携・協力
  - ①信州ミュージアム・ネットワーク「信州とあそぼ！」企画協力
  - ②他資料館との連携 縄文土器4点を飯田美術博物館に貸し出し
- (3) 文化財防火デー
- (4) 寄贈史料・資料の受入れおよび調査

＜報告＞ 『ふるさと 松川町』 発刊の経緯

1. 発刊までの経過

平成 29 年度 教育長よりふるさと学習副読本作成の指示  
他市町村作成副読本の検討（飯田市・阿南町・阿智村・高森南小など）  
文部科学省「学習指導要領」及び小中学校使用教科書検討（社・理）  
副読本構想作成  
第 2 回資料館運営委員会で構想発表と意見聴取（3 月 28 日）

平成 30 年度 副読本構想再作成 教育委員会への報告と意見聴取  
執筆者依頼（松川町在住者・関係者・小中学校教員・専門研究者）  
執筆者会（一般 9 月 18 日 小中学校職員 10 月 9 日）  
各自原稿執筆 原稿提出 小中学校職員（3 月末）

平成 31 年度（令和元年度）  
各自原稿執筆 原稿提出 一般（6 月～12 月）  
印刷業者決定（指名競争入札 龍共印刷に決定）  
印刷→校正（1 月～3 月）  
刊行（令和 2 年 3 月 30 日） 1,500 部

2. 配本と販売

▶配本（令和 2 年 4 月）

学校 ・松川北小学校および松川中央小学校 3 年生～6 年生  
・松川中学校 1 年生～3 年生  
・指導教員用、転入生および予備用、図書館用 計 880 冊  
・令和 3 年度より 小学校 新 3 年生に配布  
令和 7 年度まで配布可能 令和 6 年度くらいより改訂版作成

執筆者・協力者 計 40 冊  
その他（図書館・資料館） 計 20 冊  
残部 560 冊

▶販売 一般へ 1 冊 1,000 円  
資料館で販売 支払いは 役場会計で  
現在までに 50 冊ほど販売

3. 活用

- ▶学校においては、社会・理科・国語・総合などで活用をお願いした。活用における質問等は教育委員会において受け協力する。
- ▶松川中央小学校 3 年生は活用を始めている。
- ▶チャンネル・ユーと連携して、副読本を活用した番組を作り、放送を始めた。
- ▶公民館などの講座において、地域の人たちにも活用してもらうようにする。
- ▶誤記については正誤表を作成して添付し配布 改定時に点検し直す